



超我の奉仕

2005～2006年度
国際ロータリーのテーマ
超我の奉仕

2005～2006年度
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：守谷 巖樹
幹事：鈴木 幹雄
会報委員長：長坂 邦雄
例会日：毎週木曜日 PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋
事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL:052-211-3803
FAX:052-211-2623
MAIL:2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL:http://www.mizuho-rc.jp/

▶ 第1245回例会

～職業奉仕・米山月間～

2005年10月6日(木) 晴 第13回

司会：(岩田修司会場副委員長)
体操：ストレッチング(堀 慎治会場委員)
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」
ゲストスピーカー：ハンガー・フリー・ワールド
ウガンダ支部担当 吉田千代子様
ビジター：名古屋中RC 加瀬英比古君
(船渡昭人親睦活動委員)

▶ 会長挨拶

守谷巖樹会長

今月は職業奉仕・米山月間です。私の職業である鍛造に多少関わる話をさせていただきます。

最近NHKで放送されました“戦艦大和”と“信長の巨大鉄船”を見て、私の受け止め方で(いわゆる独断と偏見で)説明させていただきます。



まず最初は、何故浮沈戦艦と言われた大和は、あえない最期を遂げたのか?という内容でした。日本は、真珠湾攻撃では航空攻撃で大戦果を収めました。米国は直ちに航空母艦と艦載機の増産に踏み切りました。そして海戦戦略を大艦巨砲主義から航空主義に切り替えました。ミッドウェー海戦では、この戦法で大勝しました。日本は徹底した切り替えが出来ず大敗し、これが日本海軍の実質終焉となりました。その後、大和は活躍する機会もなく、究極は特攻艦として進撃しましたが、米軍の航空機による執拗な魚雷攻撃を受け、九州西南で海の藻屑となりました。

次はこれよりさかのぼる事360年、信長の巨大鉄船の話です。信長は天下統一の戦いの緒戦で、本願寺派の村上水軍の火矢と火薬玉攻撃で大打撃を受けました。そこで信長は直ちに九鬼水軍の九鬼嘉隆に命じ、船腹、楯板と櫓に鉄板を張った、火矢、火薬玉に耐えられる鉄船を作らせました。鉄板と西洋式大砲の製造は関の鍛冶集団に命じました。2年後、砲六門を積んだ幅10.5m、長さ32.4m、排水量300tの艦が完成し、村上水軍600隻の船と戦いそれを壊滅したと伝えられています。この船は世界最初の鉄船と言われており、鉄板や、西洋式大砲の製造は、当時の鍛造技術でどのようにして作ったか、未だによく分かっておりません。

この時、鉄船は火矢・火薬玉に勝ちました。どちらの戦いの場合も新しい技術を駆使した戦法に早く切り換えた方が勝っております。この後同じ船が二度と造られる事はありませんでしたが、これらを作った技術は、造船、製鋼、鍛造は勿論、その他工業全般の著しい進歩につながりました。ですが戦争によって技術が進歩するというパターンはいつの時代になっても変わらないものではないでしょうか。

▶ 出席報告

亀井直人出席副委員長

会員75名 出席54名 (出席計算人数56名)

出席率75.0%

9月29日は補填により 94.64%
9月22日は補填により 87.5%
9月15日は補填により 98.21%

▶ 幹事報告

鈴木幹雄幹事

- ・本日13時35分から9階「ことぶきの間」にて「第4回理事会」を開催します。理事各位はご出席下さい。
- ・次週10月12日(水)1246回例会は、名古屋マリオットアソシアホテル16階「タワーズボールルーム」にてガバナー訪問の4RC合同例会です。お間違えないようにお願いします。
- ・10月13日(木)は10月12日(水)の振替で休会と致します。
- ・10月22日・23日の地区大会参加のための胸章とパンフレットを事務局の井上さん・辻さんからお渡し致します。当日お忘れなくお持ちください。

▶ 10月誕生日おめでとう

細川 達也君 高木 勝君 森 真佐雄君
景山 和明君 西本 哲君

▶ 臨時例会変更のお知らせ

名古屋西	10/20(木)		11/3(木)※	
名古屋南		10/26(水)※	11/2(水)	
名古屋北	10/21(金)			
名古屋東		10/24(月)		
名古屋守山	10/19(水)	10/26(水)		11/9(水)
名古屋みなと	10/21(金)			
名古屋東南	10/19(水)	10/26(水)		11/9(水)
名古屋中		10/24(月)		
名古屋名東	10/18(火)※	10/25(火)※		
名古屋千種	10/18(火)			
名古屋大須		10/27(木)	11/3(木)※	
名古屋栄	10/17(月)◆	10/24(月)◆		
名古屋名南			11/1(火)◇	
名古屋名駅		10/26(水)		
名古屋昭和				11/7(月)
名古屋西南		10/27(木)	11/3(木)※	
名古屋錦		10/25(火)		
名古屋東山			11/3(木)※	
尾張中央	10/19(水)			11/9(水)※
豊山一城北	10/18(火)	10/25(火)		
名古屋葵	10/20(木)※		11/3(木)※	

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◆はサイン受付時間が17:00～18:00となります。

◇はサイン受付時間が17:30～18:30となります。

ニコボックス

宇佐美貞夫ニコボックス委員

- ・(1)10月1日は結婚記念日でした。(2)10月9日は53回目の誕生日です。 **細川 達也君**
- ・10月6日は私の誕生日です。 **高木 勝君**
- ・先月は妻の誕生日でした。きれいなお花を頂きありがとうございました。 **船渡 昭人君**
- ・妻の誕生日です。 **佐藤 善乙君**
- ・10月29日は結婚記念日です。 **近藤 雄亮君**
- ・今月は結婚記念日です。 **岡村 達人君**
- ・この度、新内京派名取りになりました。つきましては、10月22日に名披露目を行います。メールボックスに案内と招待券を入れておきましたので、応援よろしくをお願いします。 **伊藤 豪君**
- ・(1)本日卓話にハンガー・フリー・ワールドの吉田千代子さんをお迎えしております。東京よりお出で頂きました。(2)例会欠席のお詫び **野崎 洋二君**
- ・名古屋テレビ塔の塗装工事に着手しました。 **遠山 堯郎君**
- ・加納君よろしくお願ひ致します。 **松井 善則君**
- ・先日、大学生の娘になりましたオレオレ詐欺の電話がかかってきました。撃退しました。皆様も気をつけて下さい。

宇佐美貞夫君

委員会・同好会報告

野球同好会:亀井直人君

秋の野球大会に向けて、来る10月13日(木)14時から野球同好会の練習を行います。13時30分に熱田神宮西門へ、なるべく乗り合わせの上、ご集合下さい。その後、大同特殊鋼グラウンドへ向かいます。今のところ出席される方が3名しかおりませんので、皆様奮ってご参加下さい。

卓話 ハンガー・フリー・ワールド ウガンダ支部担当 吉田千代子様

「ウガンダ・ルウェンウェデ村に学校が出来た」

まず初めに、ウガンダがどういった国かを簡単にご説明致します。ウガンダはビクトリア湖に面し、標高1200メートルに位置しています。年間を通して25度ぐらいを保っており、また適度に雨も降りますので、とても緑豊かな過ごしやすい国です。1962年にイギリスから独立致しましたが、次々と軍事クーデターが起こり、民族間の紛争や内戦もあり、国の中が大変混乱しました。その際に植民地時代に整備されていた鉄道や道路、学校などのインフラも全て破壊されてしまいました。1986年に現大統領のムセベニが政権を執って以来、政情は比較的安定しております。

ここで簡単に日本とウガンダの比較をしてみたいと思います。子供の死亡率と平均寿命などで比べてみると、ウガンダでは1,000人生まれた子供が5歳の誕生日を迎えるまでに、152人(10%以上)が亡くなっています。日本では5人ですので、30倍の死亡率という事になります。平均寿命ですが、日本では81歳、ウガンダでは半分の42歳となっております。1つには子供の死亡率が高いという事もありますが、もう1つの原因は、アフリカ全土で大きな問題になっているエイズ感染です。それから今回のテーマでもあります、教育に関わる識字率ですが、成人識字率67%、男性が78%、女性が57%です。この数字は他の国と比べて高い数字ですが、実際に読み書き、計算が出来るかという非常に疑問の残る数字です。

私共の活動地域ですが、首都のカンパラを取り囲む形になっておりますワキソ県北部で主に活動しております。その中で今回、名古屋瑞穂RC記念小学校が出来ましたのは、ルウェンウェデ村になります。内戦時代に特に激しい戦闘があった地域で、ほとんどの公共施設が破壊されてしまい、公立の小学校が1つ也没有。それでもウガンダの方達も教育の重要性は分かっておりまして、何とかしなければならぬと言う事で、ルウェンウェデ村で約5年前にその地区の青年達が、地主から土地を借り、簡素な作りの学校を建てました。パピルスという植物の茎と、竹で造った校舎で、屋根もパピルスで作られていたため、雨が降ると雨漏りがして、授業になら

ず休校になりました。ウガンダでは2~3ヶ月雨期が続きますので、その期間授業が出来ないと言う事になります。また、教室の中を見ますと、木のベンチはあるものの、机はありません。黒板が1つあり、教科書もありませんし、教えている教師達も教職の資格をもっておらず、小学校を卒業したかどうかという人がボランティアで教えていると言う状況です。ですから教育の質はあまり高いものを望めません。私共がこの地域で活動をはじめたのが、2002年の初めからです。その年の3月にこの地区を訪問した際に、地区の住民から出た要望が、井戸が欲しいという事、その次に学校を建てて欲しいという事でした。この地区では公立の小学校が1校もないという事で、住民の手で作られた一番近い小学校まで歩いて8キロもかかるという事でした。私共で何とかしようと資金を集めておりましたが、なかなか集まりませんでした。ですが幸いにも瑞穂RCから創立25周年記念事業として寄付をしたいというお申し出を頂いて、それを地元の人々に伝えた所、大変喜ばれました。地主の方に土地を提供して頂き、無事完成に至りました。

ウガンダでは初等教育の7年間は義務教育として、学費を各世帯4人まで無料という制度になっております。しかしそれは公立小学校の場合で、それ以外の私設小学校の場合は、先生に払う給料のために学費を払わなければならない、貧しい世帯ですと子供を学校に通わせる事が出来ないという問題が起きています。ウガンダ政府の方針として、小学校を建設していきたいという意向ではありますが、現在400万人以上いる子どもたちに対して、校舎が十分な数を確保出来ない状況です。ウガンダ政府も世界最貧国で、外国から借金している国ですので、とても小学校を建てていく余裕はありません。その為、NGOなどが校舎を建設し、ある程度の基準を満たしていれば公立の小学校として認定し、中央政府から資格を持った教師が派遣され、給料も支払い、教材なども提供するという方針をとっております。名古屋RC記念小学校の場合には、設備面に関しては基準をクリアしておりますので、只今公立小学校としての認可を受ける手続きをとっております。この小学校建設にあたり、地元の方達もただプレゼントとしてそれを受け入れるのではなく、自分達の学校として運営していくために出来る事はやっていこうと、多大なる協力をされました。先ほどの土地の提供もその一つですが、その他に資材の運搬などの労働力の提供、建築業者への宿泊場所・食事の提供、セメントを混ぜる水なども遠くから汲んで来てくれました。ですから地元の人たちにとっても自分達の学校という事で、非常に誇りを持っています。校舎内には机などの教材が揃い、窓にも窓ガラスが取り付けられ、教室内が明るく学習環境が格段によくなりました。

今後の課題についてですが、現在地元の住民からあがっている要望と致しましては、井戸の問題です。村に井戸はあるのですが、学校の近くにはなく、子どもたちが遠くまで汲みに行かなければなりません。その為に学校の近くに井戸をというのが住民の要望です。そしてもう一つは、村全体の収入向上という事です。公立小学校になりますと授業料は免除されますが、その他にも学用品や制服などにお金がかかります。この村の人々の大半は貧しい農民のため、土地を持っていても農機具がない、品質のよい種を買う事が出来ない、肥料を買うお金がないといった具合で、自分達の食べるものだけでやっという人々ばかりです。そこでHFWと致しましては、別地区にて稲の栽培を試験的にはじめる事にしました。他にも女性による野菜栽培などを通して収入を向上させていきたいと思っております。ウガンダの方達は「アフリカの日本人」とも言われており、非常に性格は温厚で真面目な方達ばかりです。ですから皆様からのほんの少しの支援があれば、確実に自立していける国だと思っております。今後とも皆様からの御支援をお願い致します。

今週行事

10月12日(水)

ガバナー訪問:12:30より

於:名古屋マリOTTアソシアホテル16階
「タワーズボールルーム」

次週卓話

10月20日(木)

会員卓話:堀 慎治君

テーマ:「オゾン層保護と温暖化について」